

計画案の概要説明

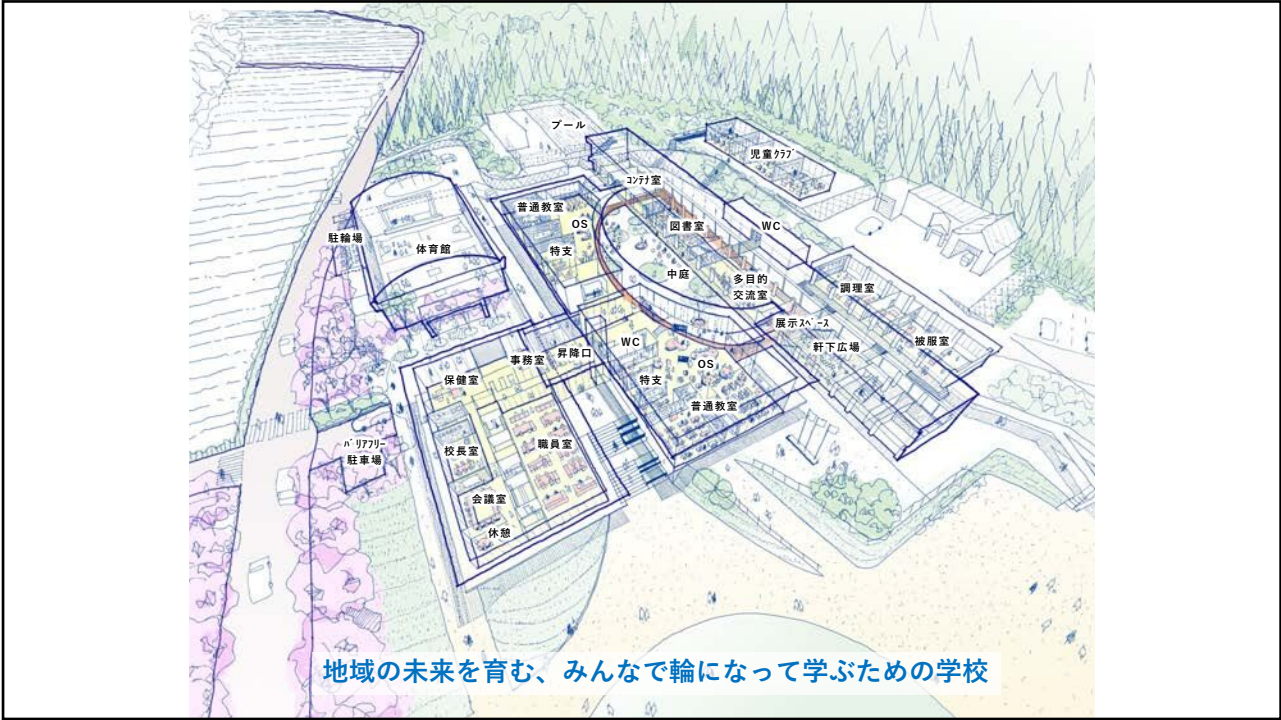
松山地域義務教育学校建築基本設計業務

【2026.10.01】
@統合準備委員会

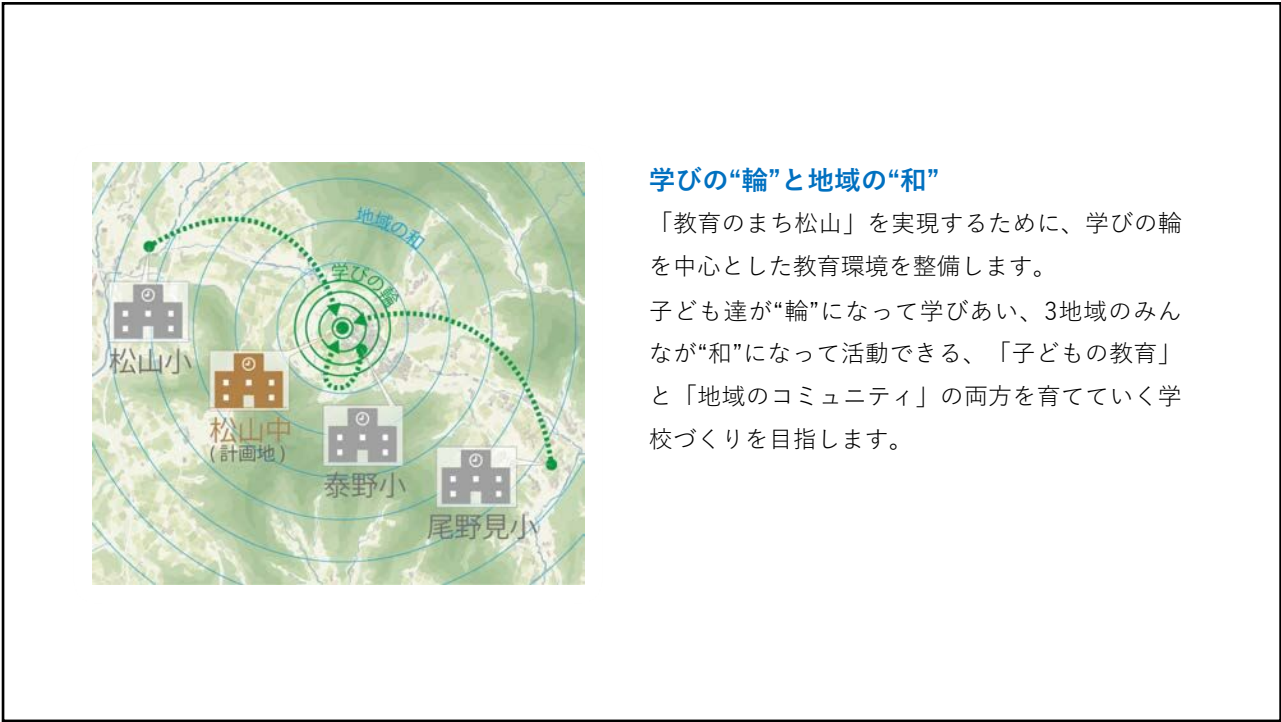
■委員会・説明会のスケジュール（予定）

10 / 1（木）	統合準備委員会①	：計画説明
10 / 8（木）	地域（地元・学校）説明会①	：計画説明・意見収集
10 / 15（木）	統合準備委員会②	：意見収集
⋮	⋮	
12月上旬頃	統合準備委員会③	：最終報告
2027年 1月中旬頃	地域（地元・学校）説明会②	：最終報告

* 11月末頃パブリックコメント



3



4

3つの実施方針（こんな学校をつくります）

①共に集い、学び、生活する学校づくり

- ・ 9年間に共に学び生活する場として、一体感のある学校づくりに取り組みます。
- ・ アットホームな場所から出会いや交流のためのスペースまで、児童生徒や教員それぞれにとってのお気に入りの居場所が必ずある“みんなの学校”を実現します。



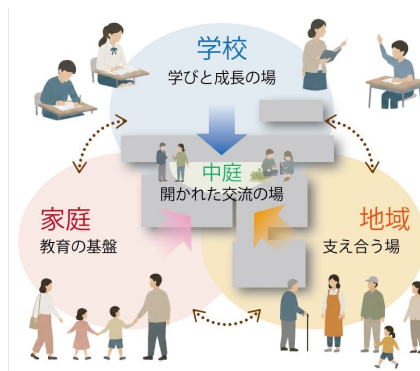
図書室・多目的交流室・オープンスペースが中庭を介してゆるやかにつながる

②多様な教育ニーズに対応する空間づくり

- 多様化する新しい時代の学び方に対応する学習空間づくりに取り組みます。
- オープンスペースと連動し多重的に活用できる学習空間を計画するなど、個人からグループ学習まで児童生徒の好奇心や自発性を触発する環境を実現します。

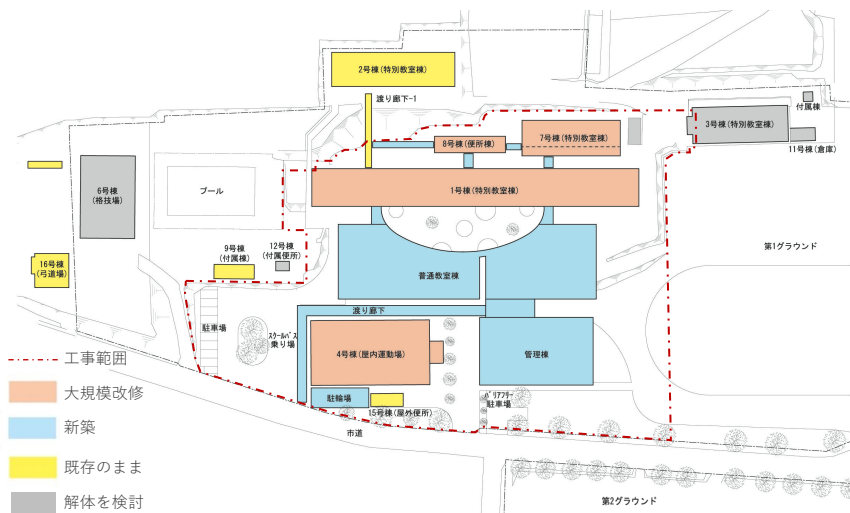
③地域との協働・交流拠点づくり

- ・地域の人々も日常的に利用できる地域交流の拠点づくりに取り組みます。
- ・みんなに開かれた交流の場として中庭を整備するなど、家庭・学校・地域が共に助け合いながら、子ども達の学びと成長を育む土壌づくりを目指します。



中庭を介して家庭・学校・地域が互いに支え合う考え方

5

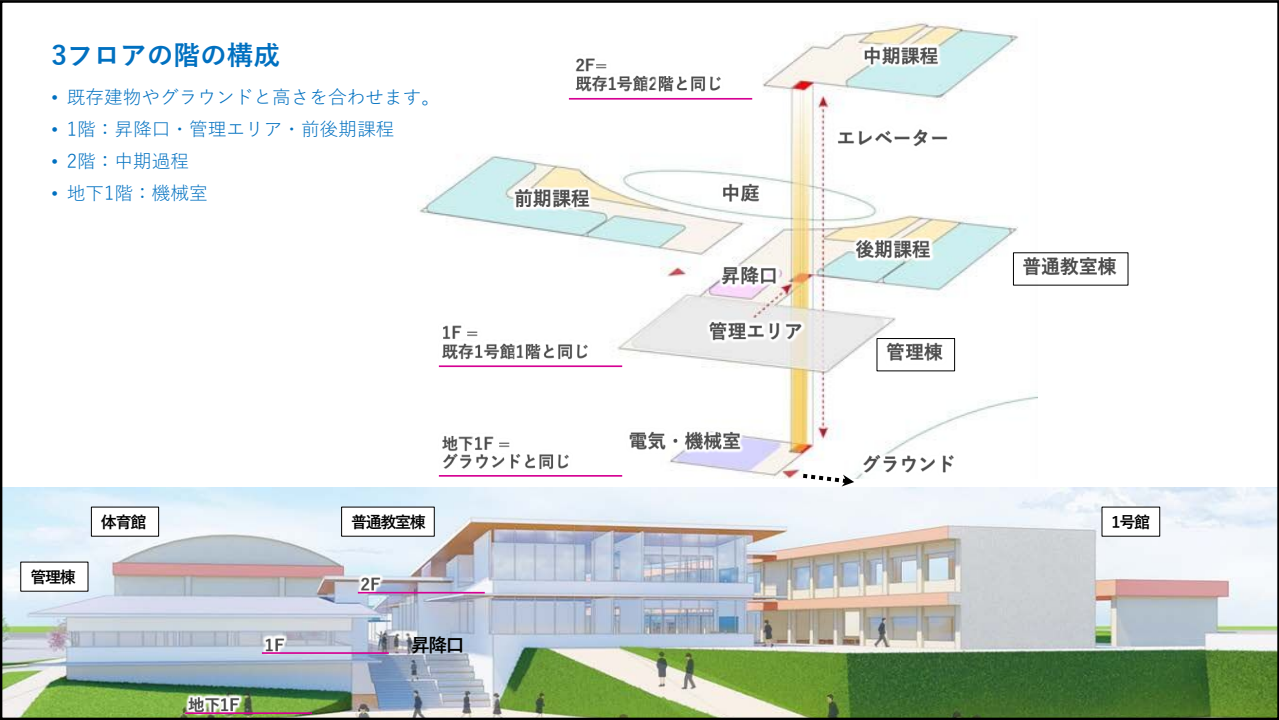


- ・1号棟や7号棟は大規模改修し、特別教室棟として活用します。
- ・普通教室棟や管理棟を新築し、校舎が中庭を囲むように計画します。
- ・屋内運動場については空調設備の設置を検討します。
- ・第2グラウンドの一部を駐車場として活用します。
- ・遊具についてはグラウンド整備方針と併せて設置位置や仕様を検討します。

6

松山地域義務教育学校整備事業
統合準備委員会（第1回）





9



10



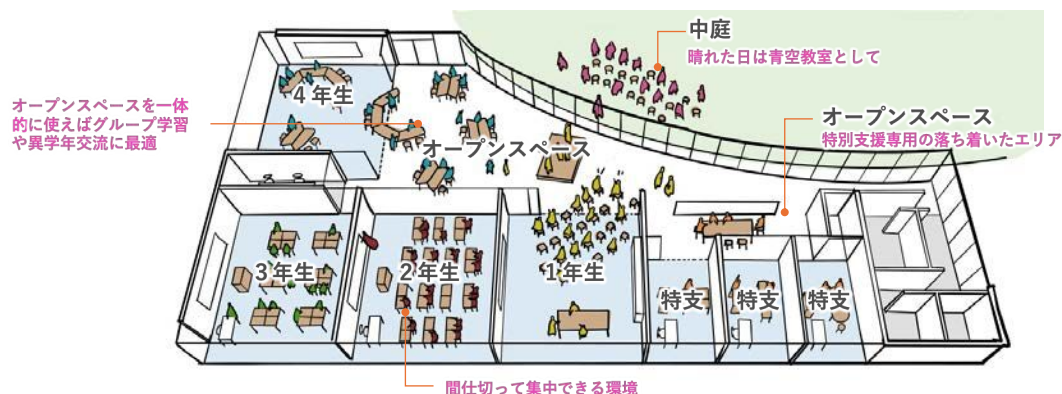
11



12

多様な教育に柔軟に対応する平面計画

- 前期課程と後期課程の各エリアに普通教室と特別支援学級およびオープンスペースを集約配置します。
- 教室からオープンスペース、中庭へと広がる計画とすることによって、成長段階に応じた柔軟な教育環境を確保します。



13

地産杉が包む温かい教育空間

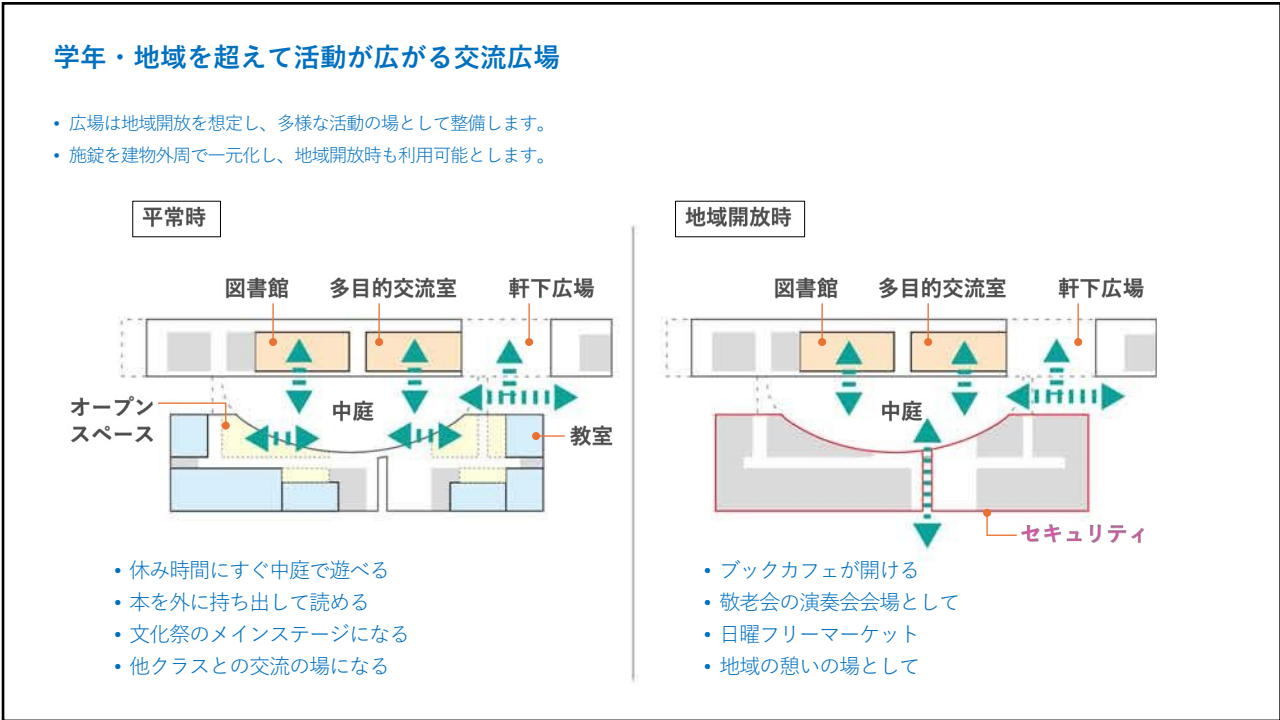


床・天井に地産の杉材の使用を検討し、子どもたちがホッとする温かい教育環境づくりを目指します。

14



15



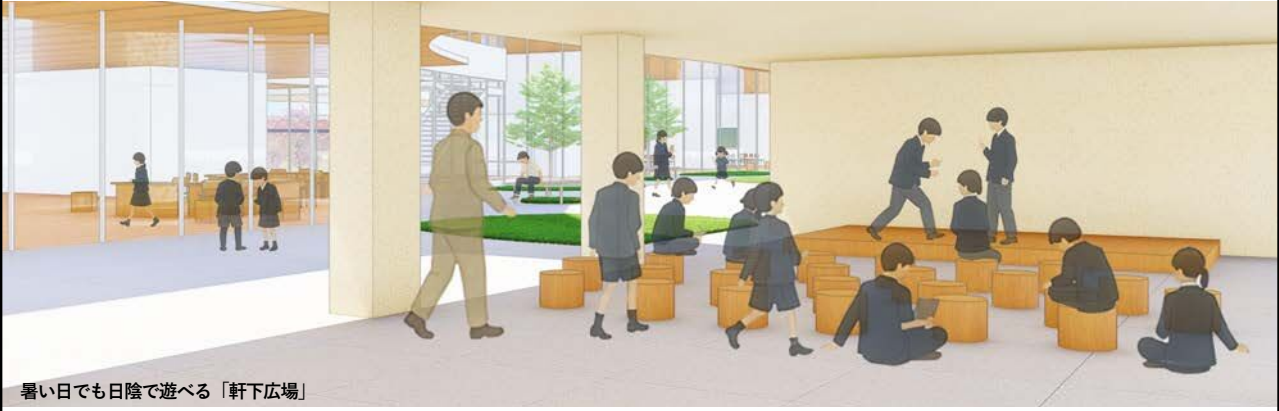
16

学校に一体感を生み出す半屋外の「軒下広場」

- 1号棟1階の一部を半屋外の「軒下広場」とします。
- 中庭から7号館へと連続する広場として児童生徒や地域に開放することを想定しています。



1階平面図

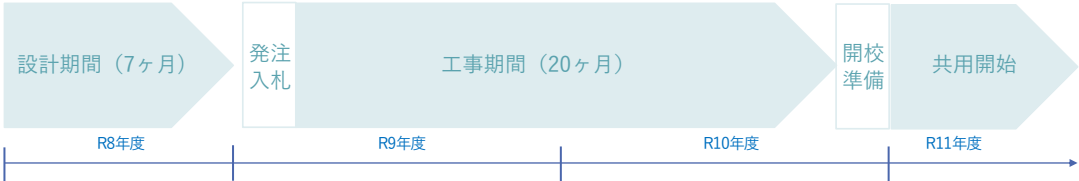


暑い日でも日陰で遊べる「軒下広場」

17

整備スケジュール

- 現時点における整備スケジュールとしては、R8年度末に設計が完了、R9年度当初から工事入札・工事に着手し、R11年（2029）4月に開校となる予定です。



設計期間（7ヶ月）
R8年度

発注
入札

工事期間（20ヶ月）
R9年度
R10年度

開校
準備

共用開始
R11年度

18

